

ICT 活用に向けて、まずは使ってみましょう！

区立小中学校の全ての普通教室に電子黒板機能付きプロジェクターが整備され、授業に活用されています。また、理科教育の充実のため、理科室には大型の液晶テレビ型の電子黒板が整備されています。小学校の国語科、社会科、算数科、理科、中学校の英語科では、デジタル教科書の活用も始まり、これまでよりも課題や資料提示がしやすくなりました。

しかし、ICT 環境を整備したからといって、教育効果が高められるものではありません。ICT を効果的に活用するために、どの場面でどう使うかといった先生方の教材研究が重要になってきます。また、日常的な活用のために、その特性やソフトの特徴を十分に理解し、授業設計をしていくと、さらに効果的です。

先生方が ICT をよりよく活用できるようにするため、全ての小中学校を7月末までに訪問し、実技研修を行いました。積極的に ICT を活用していこうという先生方が多く、大変嬉しく感じています。実技研修に伺うと、たくさんの質問をいただきます。本紙を通じて、質問内容を全体で共有するとともに、先生方が抱えている疑問や悩みに応えていきたいと思えます。さらに効果的な ICT 活用を進めていくために、機器の具体的な使用方法や使用場面、授業改善のポイントなどを定期的に発信していきます。

ICT 活用の主な場面



出典：文部科学省「授業がもっとよくなる電子黒板活用」（2015）より

例に挙げたように様々な活用方法があります。ICT は、子どもたちの興味・関心を高め、思考や理解を深めるうえで、有効な手段となります。学習のねらいや子どもたちの実態に応じた使い方は重要ですが、ICT の日常化に向けて、まずは使ってみることが大切です。